今月の輝ける星

撮影した時の手応え
直井　馨さん（上郷４区）

町内で、写真を撮ることを楽しむ人たちが集まる団体「フォト上三川」、この代表を務めるのが直井馨さんです。

「フォト上三川」は、７年前に町の文化祭に出展していた、写真愛好家13人で結成されました。その後は、月１回のペースで撮影会に出かけたり、審査会を開いて活動をしてきました。

直井さんは2代目の代表者で、「現在は、メンバーも少なくなり、活動はほとんどしていません。しかし、出展する時には、フォト上三川の名前を出しています。」と話していました。

平成12年に、町が「町勢要覧」を作成した時には、直井さんがメンバーに声をかけ、町内で撮影した、風景写真を提供していただきました。また、町のテレフォンカードには、直井さんが撮影した、磯川緑地公園のつり橋の写真が使われました。（左の写真）

「子どものころは、物を印画紙などに写すなど、現在を記録するのが面白かったことと、旅行などの時に記録写真を撮るぐらいでした。しかし、町の文化祭に出展した際、声をかけられ本格的に写真を始めました。」と、写真を趣味とする経緯を話してくれました。

写真の面白さは、「シャッターを切る時、手応えを感じる時があります。この時の写真は、イメージ通りの仕上がりになります。」と、最も手応えを感じたという、今年１月に中禅寺湖で撮影された作品を見ながら語ってくれました。この作品は、今年秋の県芸術祭に出展する予定だそうです。

最後に、「町内にも、個人で写真を楽しんでいる人がたくさんいると思います。一緒に楽しく技術を向上させませんか。」とメッセージをいただきました。

直井さんの写真が
町のテレフォンカードに！

広報紙で見る上三川町50年

表紙がなかった創刊号（創刊号）

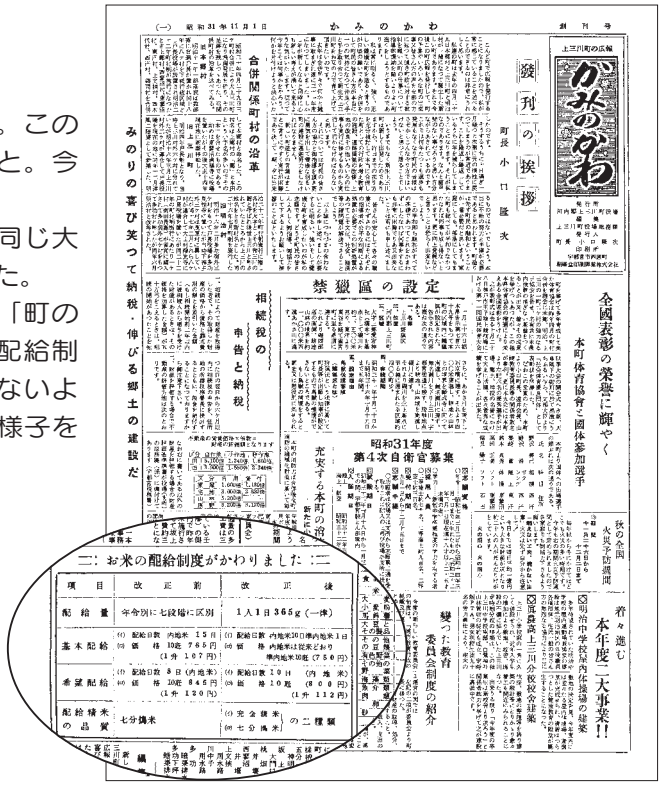
毎月皆様のお手元にお届けしている広報紙。この広報紙が創刊されたのは昭和３１年１１月のこと。今とは違い毎月発行ではなく年１回。

スタイルも今の冊子形式ではなく、半紙と同じ大きさ（B4版）で両面刷りの新聞スタイルでした。

内容はというと、「発刊の辞」から始まり、「町の財政」や「町勢概要」など。中には「お米の配給制度がかわりました」という、今では考えられないような記事も。今では、約５０年前の上三川町の様子を知る貴重な資料となっています。

こんな形で始まった町の広報紙も７号（昭和３７年６月発行）から冊子形式となり、８号（昭和３７年９月発行）からは何気ない町の話題の写真で飾られた表紙をもつ今のスタイルへ整ってきました。

これからは、広報の表紙を飾った一枚の写真から見た上三川の世相の移り変わりについて、少し紹介していきたいと思います。



かみのかわ　昭和31年11月1日　創刊号

上三川町の広報

かみのかわ

発行所
河内郡上三川町役場
上三川町役場広報係
町長　小口隆次
印刷者
栃木県宇都宮市
栃木県印刷株式会社

みのりの喜び笑って納税・伸びる郷土の建設だ

発刊の挨拶

町長　小口隆次

合併関係町村の沿革

相続税の申告と納税

禁猟區の設定

全国表彰の栄誉に輝やく

本町体育協会と団体参加選手

昭和31年度第4次自衛官募集

充実する本町の消防

秋の全国火災予防週間

着々進む本年度二大事業!!

明治中学校第四体育館の建築

宮島第二小学校校舎建築

変った教育委員会制度の紹介

二：お米の配給制度がかわりました：二

項目	改正前	改正後
配給量	年令別に七段階に区別	1人1日365g（一律）
基本配給	(イ) 配給日数　内地米 15日 (ロ) 価格　10匁 765円 (1升 167円)	(イ) 配給日数　内地米30日 準内地米1日 (ロ) 価格　内地米は従来どおり 準内地米10匁（7.54円）
希望配給	(イ) 配給日数　8日（内地米） (ロ) 価格　10匁 845円 (1升 120円)	(イ) 配給日数　10日　（内地米） (ロ) 価格　10匁　（845円） (1升 112円)
配給精米の品質	七分搗米	(イ) 完全搗米 (ロ) 七分搗米　の二種類

この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と
環境にやさしい大豆油インクを使用しています。

広報かみのかわ　広報かみのかわ4月号　上三川町役場　企画課広報統計係　〒329-0696　栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地　☎0285（56）9117